

南流山中学校移転  
基本設計（案）

南流山中学校移転 基本設計（案）

---

流山市 2021.11

# 1.敷地概要・計画概要

## ■敷地概要

計画敷地 : 地名地番 千葉県流山市緒ヶ崎字背戸谷1662番1他7筆  
 区域区分 : 市街化区域  
 用途地域 : 第一種中高層住居専用地域  
 敷地面積 : 49,877.32㎡ (中学校エリア: 約32,000㎡)  
 法定建蔽率 : 50%  
 法定容積率 : 100%  
 防火地域 : 指定なし (法22条区域)  
 日影制限 : 3h-2h/4m  
 高度地区 : 第1種高度地区 (最高高さ12m)  
 地区計画 : 東洋学園地区地区計画

## ■学校概要

学校名称 : 南流山中学校  
 普通学級 : 42学級想定(最大)  
                   開校時22学級想定  
 特別支援学級 : 5学級想定(最大)  
                   開校時4学級想定  
 開校時期 : 令和6年4月

## ■広域案内図



## ■計画概要

主要用途 : 中学校

### <改修工事部分>

改修後建物名称	構造	階数	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	竣工年
A棟	RC造	地上3階	1,535.38	4,197.13	H10
B棟	RC造	地上2階	357.61	674.82	H5
C棟	RC造	地上3階	1,079.00	3,176.81	H9
D棟	SRC造	地上4階	656.76	2,233.43	H9
E棟	RC造	地上7階	669.61	4,167.67	H4
F棟	RC造	地上3階	450.02	1,395.34	H4
体育館	RC造 + S造	地上2階	1,295.70	1,392.44	H4
共同調理場棟	RC造	地上2階	760.76	1,283.62	S63
			合計 6,804.84	合計 18,521.26	

### <増築工事予定部分>

増築建物名称	構造	階数	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	備考
プール	RC造	地上1階	95.01	95.01	・25m×6コース
駐輪場	アルミ造	地上1階	251.25	251.25	450台駐輪想定
			合計 346.26	合計 346.26	

## ■付近見取図



## 2.コンセプト・基本方針

### 流山市の「学校施設の目指すべき姿」(抜粋)

#### 1.確かな学力の育成ときめ細やかな指導を実践する 教育環境の整備(学習空間の充実)

- ・個に応じたきめ細やかな指導の充実を図り、多様な学習展開に対応する施設整備を進めます。
- ・グローバル社会に対応した教育の推進(英語力、コミュニケーション力等の育成)やICTを活用した授業の推進のための環境を整備します。
- ・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、必要な支援を行う特別支援教育に対応した施設整備を図ります。

#### 2.豊かな心と健やかな体を育成する安全な施設環境の実現 (生活空間の充実)

- ・児童・生徒が安心して有意義な学校生活が過ごせるよう、安全性に配慮した施設整備を図り、安心して施設を利用できるようにユニバーサルデザイン化を目指します。
- ・豊かな人間関係づくりや情操の涵養、体力向上を推進するための空間づくりを工夫します。
- ・環境に配慮し、LED照明や人感センサー付き照明の導入、校内緑化の推進等を進めます。

#### 3.地域とともに歩む拠点としての施設整備 (地域との連携の充実)

- ・家庭、地域とのネットワークを形成し、学校教育活動を支えるPTA、学校サポートボランティア等の活動の場として位置付けます。
- ・生徒の放課後の居場所、地域の生涯学習の場として、学校を利用することを考慮します。
- ・地域の防災拠点、避難所としての役割を担う施設として整備を進めます。

### ～学びの森をつくる～

### 旧大学校舎を活かした“キャンパスライクな中学校”

- 既存大学施設の空間を活かし、「コミュニケーションスペース」及び「少人数教室」を整備して、多様な学習形態・学習環境を実現します。
- 無線LAN、クラウドサービスの利用、タブレット端末の導入等、ICT環境を整備します。
- 特別支援教室を5教室設置し、将来の生徒増に対応しながら、生徒一人ひとりの教育ニーズに応じた学習環境をつくりま

- 既存大学施設のトイレを全更新し、安心して利用できる衛生機器数とブースの広さを確保します。
- 新バリアフリー法に準拠し、ユニバーサルデザイン化に向けて、既存建物を整備します。
- 授業や部活動、各種行事を考慮して、グラウンドを整備し、健康な体作り・体力向上を図ります。
- 省電力なLED照明への全更新や、既存樹木を活かした外構整備により、環境に配慮した施設とします。

- 来客者入口の近くにPTA室兼地域連携室、小会議室を配置し、PTA活動や地域と連携した活動の拠点をつくりま
- かまどベンチやマンホールトイレを配置し、災害時に地域の人々が利用できる防災拠点として整備しま
- 体育館は、避難所として利用されることを想定し、整備を行います。



※イメージパースのため実際と異なる場合があります。

### 3.配置計画

#### 全体配置

既存の樹木や既存大学施設の中庭空間の魅力を活かし、キャンパスライクな中学校として緑豊かな“学びの森”をつくります。既存大学施設のうち改修対象範囲を「中学校エリア」、対象外範囲を「その他エリア」とし、フェンス等で明確に区分します。バリアフリーに配慮したスロープ等の設置等、日常の安全に配慮した計画とします。

#### 動線計画

徒歩・自転車通学者の動線を分け、生徒の登下校時の安全確保並びに混雑の緩和に寄与するとともに、近隣道路利用へ配慮した計画とします。また各学年ごとに昇降口を設け、登下校時の混雑を緩和させる計画とします。各棟は2階の連絡通路を利用して、室内で行き来することが可能です。避難動線を確保することや、消防活動用の空地を設けるなど緊急時を考慮した計画とします。

#### グラウンド整備

授業や部活動、各種行事を考慮し、必要なスペースを確保した計画とします。既存の樹木を活かして日影の休憩スペースを確保します。

#### 防災拠点

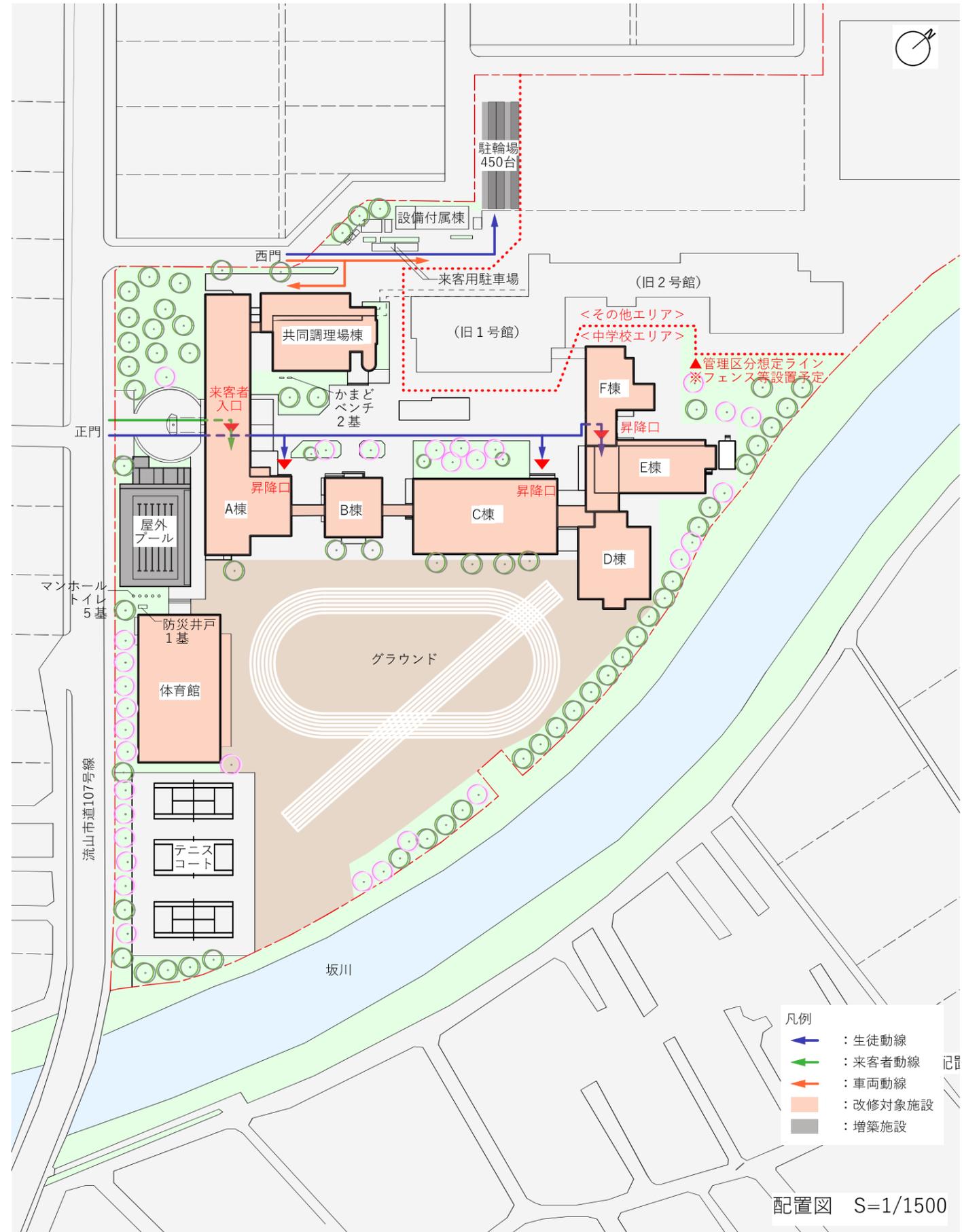
防災機能の確保のため、防災備蓄倉庫の設置、防災井戸・マンホールトイレの設置、かまどベンチを利用した炊き出しスペースの整備を行います。体育館は避難所としての利用も加味し、バリアフリーに配慮した計画とします。

#### 地域交流

放課後の委員会活動・部活動及び地域の生涯学習の場として学校を利用することに配慮した計画とします。地域住民がアクセスしやすい場所に、小会議室等を配置し、PTA活動や地域連携活動、学校サポートボランティア等の活動の場となるよう配慮します。生涯学習の場として利用できる諸室を検討します。



中庭から見た、緑豊かな“学びの森”  
※イメージパースのため実際と異なる場合があります。

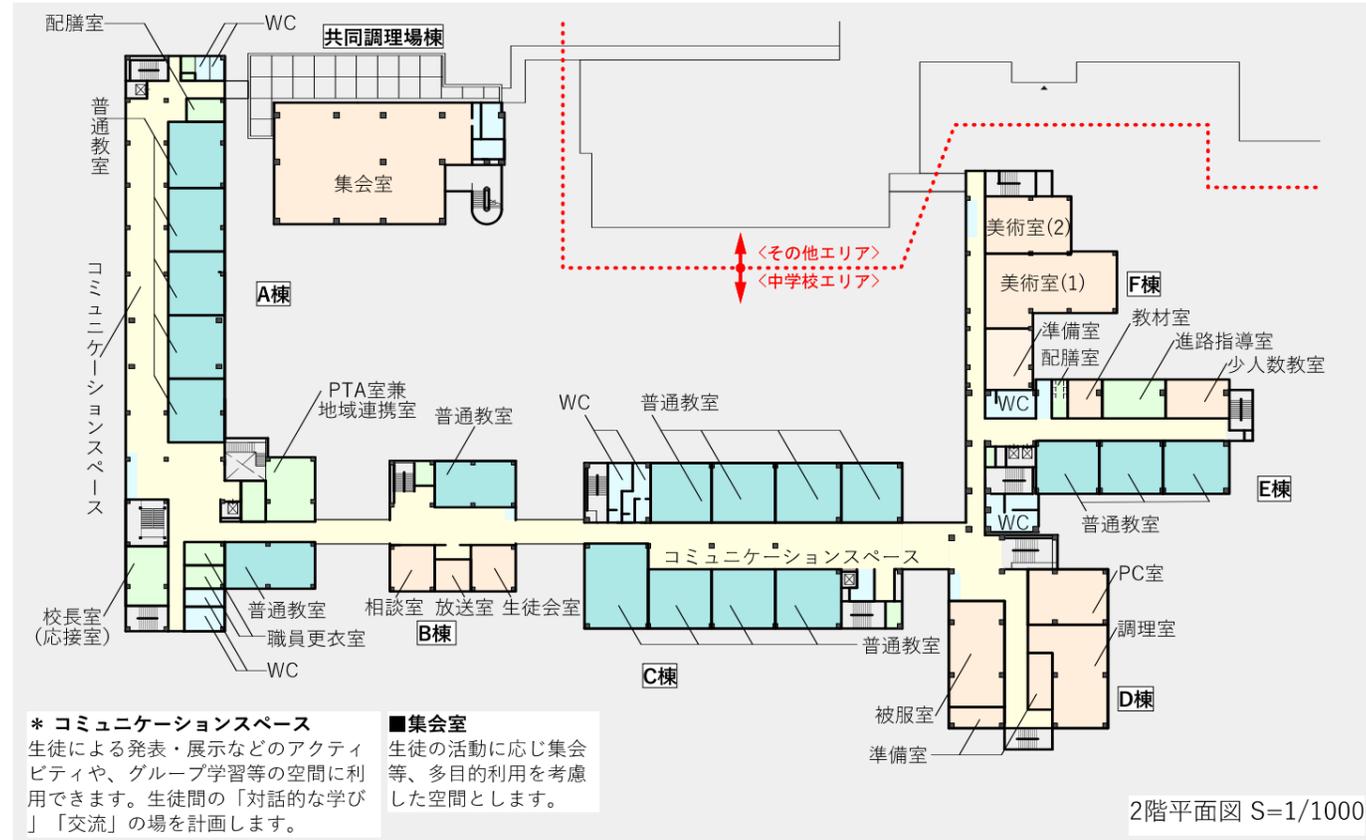


# 4. 平面計画

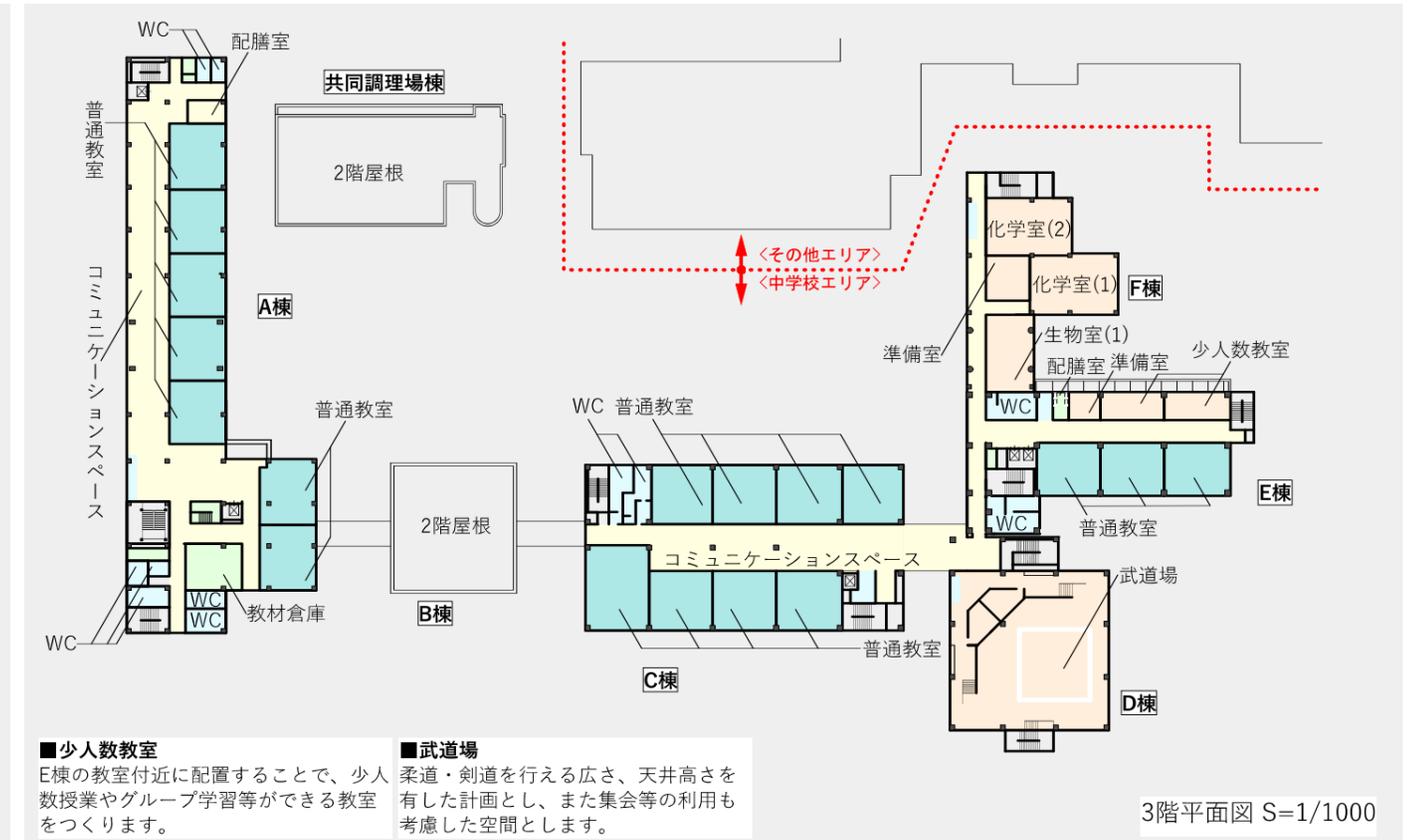
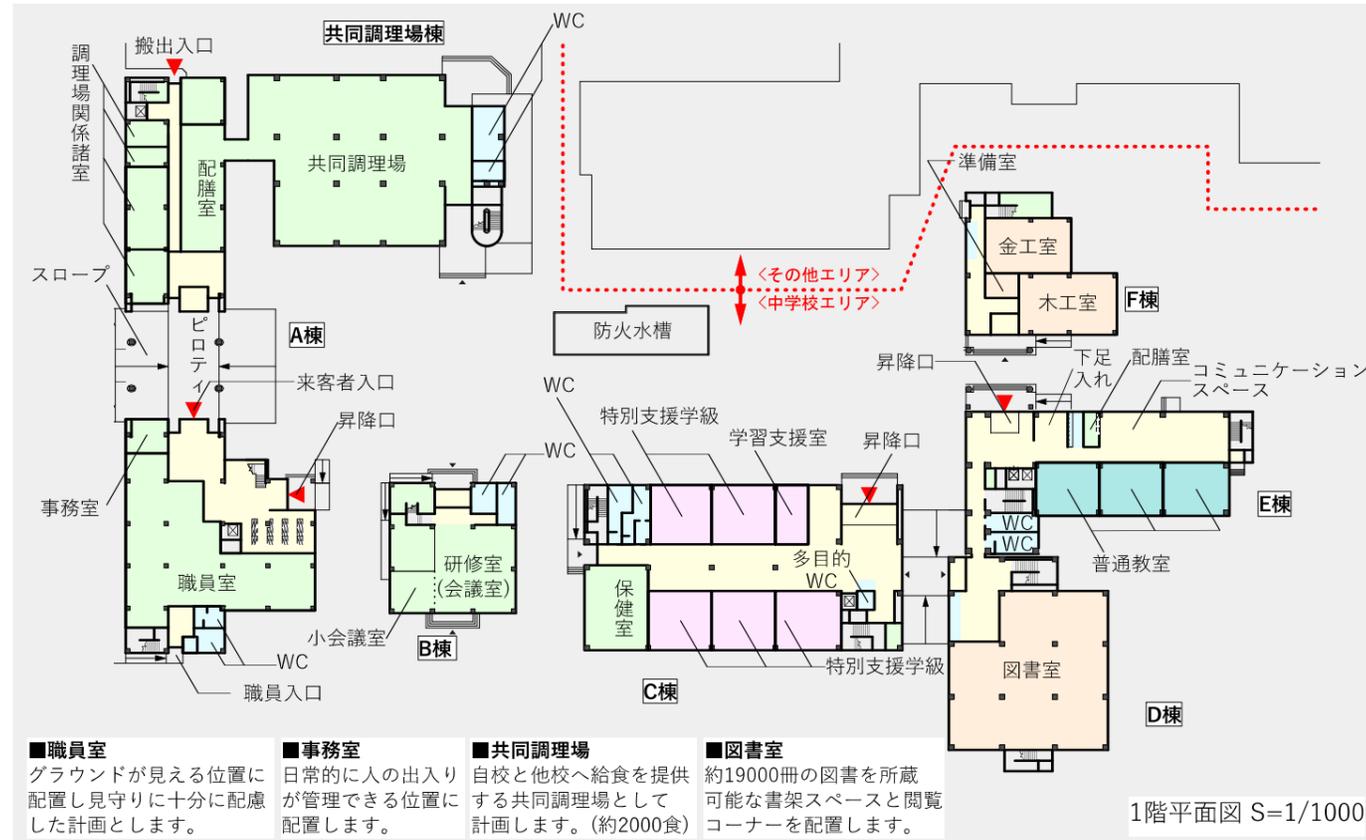
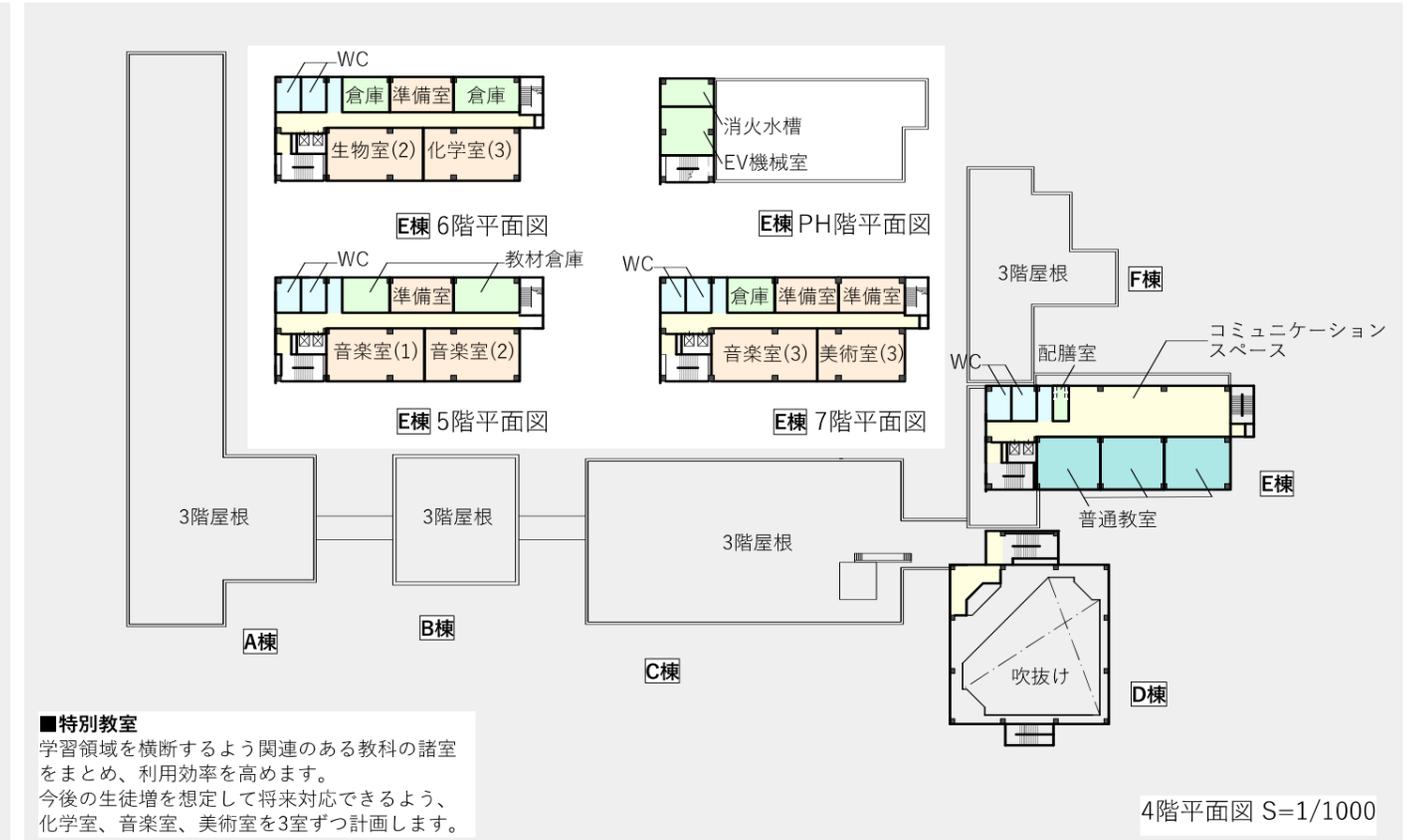
**施設構成：**棟・教室・昇降口の関係を検討し、まとまりのある諸室配置とします。多目的スペースに使用できるコミュニケーションスペース\*や少人数教室を配置し、自由度の高い学習空間を実現します。チーム・ティーチングによる弾力的な授業展開等、多様な学習形態に対応します。

## 凡例

- :普通教室・多目的室
- :特別教室
- :特別支援学級・学習支援室
- :管理諸室
- :水廻り(WC、水飲み場、手洗い場)
- :共用部



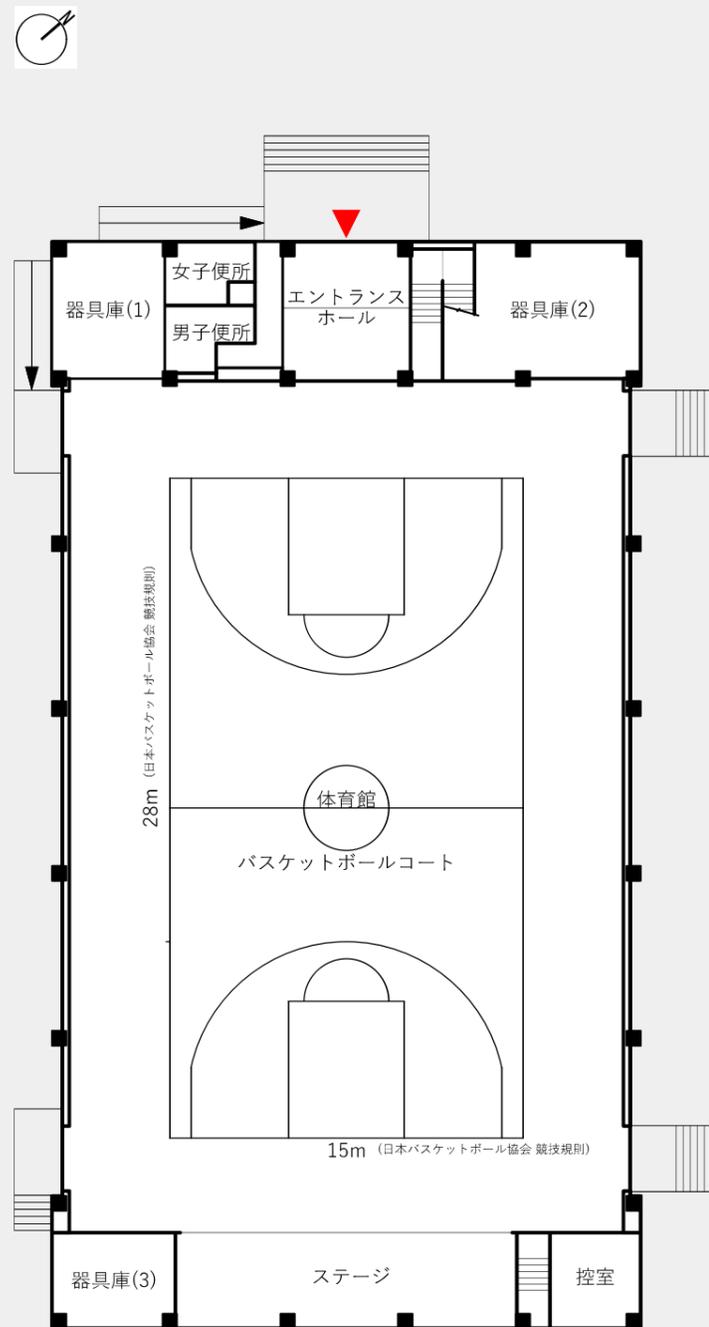
**普通教室：**最大利用可能数として42教室を整備します。余裕教室となる期間は多目的室としての利用を想定しています。



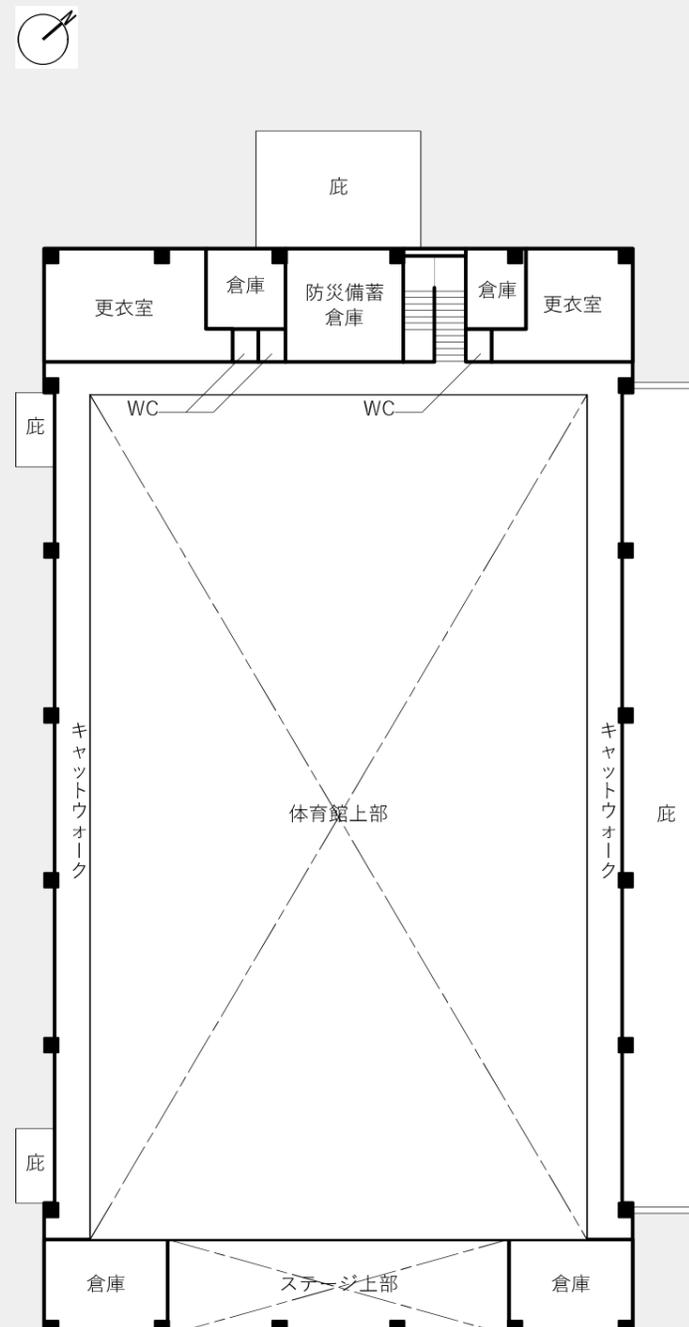
## 5. 平面計画 (体育館・プール)

**体育館**：授業や屋内運動部の活動場所としてコートラインを配置します。災害時に避難所として利用されることを想定し、体育館2階には防災備蓄倉庫を計画します。

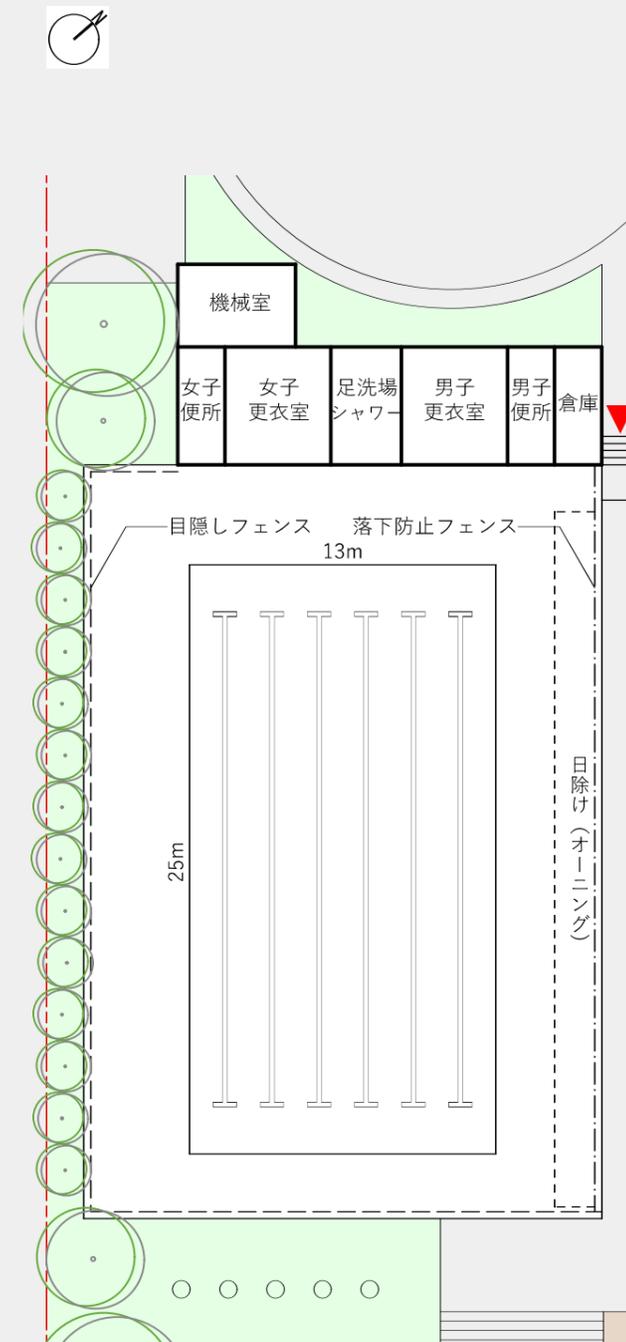
**プール**：屋外プールとして25m×6コースを計画します。プールサイドは十分なスペースを確保し、見学生徒用の日除けスペースの設置を検討します。



1階平面図 S=1/300



2階平面図 S=1/300



平面図 S=1/300